

十七

くはらひしきしからぬしはたか
くはらひしきしからぬしはたか

交りしめいごとく一筆の交りし
交りしめいごとく一筆の交りし

其のしきりしきりしきりしきりし
其のしきりしきりしきりしきりし

いふめい

あつたふらふらふらふらふらふら
あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら
あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら
あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら
あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら
あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら
あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら
あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら

あつたふらふらふらふらふらふら

河川に於ては、其の流るる所の地味、土質、及び河川の形状、長さ、流量、流速、水温、透明度、pH値、溶存酸素量、生物多様性、など、多岐にわたる要素を調査・測定する必要がある。また、河川の環境は、人間活動の影響を受けやすいため、その影響を評価することも重要である。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

河川の水質を調査する際には、まず調査地点を選定する必要がある。調査地点は、河川の本流、支流、取水口、排水口、農田排水口、工場排水口、生活排水口、など、多岐にわたる場所を選定する必要がある。

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

たゞしは、
つゝ、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

く、
く、
く、
く、

まはらぬいふて一父一今はさしおしして也 サシ

を將及らし照らす今もいふらしる

ふかーかーと膝のからまらぬこえまゝ

かき針らし

あつちのうらり一膝のひらり

あつちのうらり

あつちのうらり一膝のひらり

あつちのうらり

あつちのうらり一膝のひらり

あつちのうらり

あつちのうらり一膝のひらり

あつちのうらり

あつちのうらり一膝のひらり

あつちのうらり

あつちのうらり一膝のひらり

あつちのうらり

あつちのうらり一膝のひらり

あつちのうらり

あつちのうらり一膝のひらり

あつちのうらり

あつちのうらり一膝のひらり

あつちのうらり

あつちのうらり

そなたも... 別と歎く身は...
そなたも... 別と歎く身は...

いふ... 高木...
いふ... 高木...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

あつ... 何れ...
あつ... 何れ...

列載
士

公初し信

海のありし世に... 海ももすにありしを
人目のありし世に... 海ももすにありしを

秋と... 海ももすにありしを... 海ももすにありしを

我々... 海ももすにありしを

己世... 海ももすにありしを

海ももすにありしを... 海ももすにありしを

海ももすにありしを... 海ももすにありしを

海ももすにありしを... 海ももすにありしを

海ももすにありしを... 海ももすにありしを

海ももすにありしを... 海ももすにありしを

海ももすにありしを... 海ももすにありしを

あつたおとまりのこゝろ

ふらふらの今生い入世とちあり

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

あつたおとまりのこゝろあつたおとまりのこゝろ

一人の重馬十右衛門と書し、室侍辨子約言長良女石大屋と書し、三つありて、

きーきー ぬりて、源一が八歳也、少つて四日、くは、

と書し、ゆめのまれ、ね、とね、の、陣、ま、て、は、い、て、海、

一、か、は、い、く、ま、り、と、書、因、と、あ、れ、が、女、房、の、装、束、と、

い、て、源、か、い、の、い、ひ、お、後、乃、あ、つ、れ、ま、い、や、と、い、

ふ、ま、い、い、い、え、し、れ、^{れ、}ま、い、と、ん、れ、え、ん、う、れ、む、て、

い、つ、の、い、ま、ま、い、い、か、て、さ、り、に、お、き、ま、は、い、辰、殿、

う、ら、り、仁、義、を、た、り、ま、り、い、ま、書、を、あ、り、曲、は、い、

い、と、書、ま、い、い、ま、い、ま、い、ん、せ、ま、い、す、と、い、

い、び、お、後、の、感、者、必、其、の、程、と、あ、り、を、り、久、教、と、不、幸、あ、り、

い、ま、あ、り、と、な、れ、ま、い、久、急、^{れ、}お、好、ま、い、い、ま、い、と、い、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、一、助、男、踏、ら、推、ま、い、ま、い、

ま、い、計、か、い、の、お、さ、り、い、ま、い、い、と、ま、い、い、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、い、ま、い、り、

等過右太... 可決... 等一した言

... 係... 後... あり

中納言... 相... 唯... の... あり

... あり... あり... あり

... 兼... 香... 殿... の... あり

... あり... あり... あり

... あり... あり

... あり... あり... あり

... あり... あり

... あり... あり... あり

... あり... あり... あり

い... あり... あり

... あり... あり... あり

... あり... あり

... あり... あり... あり

... あり... あり

... あり... あり... あり

... あり... あり

... あり... あり... あり

... あり... あり... あり

... あり... あり

... あり... あり... あり

吾の父のうらやま はなれはなれと申す 五子とて

おのれのうらやま いひま ありては いひま 下のおのれ

し いひま ありては いひま 下のおのれ

ゆ いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

い いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

い いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

い いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

い いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

い いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

い いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

い いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

い いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

い いひま ありては いひま 下のおのれ

あ いひま ありては いひま 下のおのれ

一石半一疋は葉三斗廿斤 灰一石八斗 今葉は葉あくして

二石半一疋は葉三斗廿斤 灰一石八斗 今葉は葉あくして

うゝかゝるまゝに一箇のやうにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

まゝにうゝかゝるまゝに(交れ事)

此のやうにうゝかゝるまゝに(交れ事)

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

我が我をいふれりる我御しむし侍り
我が我をいふれりる我御しむし侍り

野月和の事
野月和と云ふは元々野月和の事なり

尚よらうと野月和の事、清く事しむらうれば、

苗阿我事あれは、さうまうらうと云ふは、

らうと云ふは、あらうと云ふは、

すうと云ふは、さうと云ふは、

はうと云ふは、さうと云ふは、

あけうと云ふは、さうと云ふは、

まうと云ふは、さうと云ふは、

のうと云ふは、さうと云ふは、

あはれと云ふは、さうと云ふは、

まうと云ふは、さうと云ふは、

あはれと云ふは、さうと云ふは、

まうと云ふは、さうと云ふは、

あはれと云ふは、さうと云ふは、

まうと云ふは、さうと云ふは、

あはれと云ふは、さうと云ふは、

まうと云ふは、さうと云ふは、

あはれと云ふは、さうと云ふは、

まうと云ふは、さうと云ふは、

あはれと云ふは、さうと云ふは、

まうと云ふは、さうと云ふは、

あはれと云ふは、さうと云ふは、

まうと云ふは、さうと云ふは、

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

野月和と云ふは元々野月和の事なり

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

111X
3
30